

EPSON

ステータス表示ガイド

**EB-PQ2010B
EB-PQ2008B
EB-PQ2008W**

目次

ステータス表示 - Status Information カテゴリー	3
ステータス表示 - Source カテゴリー	6
SDI 入力 (EB-PQ2010B のみ)	6
HDMI/DVI/HDBaseT 入力.....	8
LAN 入力.....	10
USB 入力.....	11
ステータス表示 - Signal Information カテゴリー	12
LAN/USB 入力.....	12
HDMI 入力.....	13
HDBaseT 入力.....	18
SDI 入力 (EB-PQ2010B のみ)	23
ステータス表示 - Output Signal カテゴリー	27
HDMI 出力.....	27
ステータス表示 - Network Wired カテゴリー.....	29
ステータス表示 - Network Wireless カテゴリー	30
ステータス表示 - Maintenance カテゴリー	31
ステータス表示 - Version カテゴリー.....	32
「ステータス表示ガイド」ご利用について	33
商標について	34
著作権について	35

プロジェクターメニューの [情報] > [ステータス情報] から、本機の状態やエラーを確認できます。

プロジェクターの詳細な情報をカテゴリーごとに確認できます。

備考

- ステータスは英語で表示されます。
- 表示される項目は、投写中の映像信号や入力ソースにより異なります。

ステータス表示 - Status Information カテゴリー

本機のシステム状態を表示します。

項目	説明
<1/8> 本機の主要な状態を表示します。	
System	システムの動作状態を表示します。
	OK：通常状態です。
	Warm-Up：ウォームアップ状態です。
	Standby：スタンバイ状態です。
	Cool Down：クールダウン状態です。
	Temp Error：内部高温異常です。 自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 <ul style="list-style-type: none"> エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。高温にならない環境で使用するようにします。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。詳細については、『取扱説明書』の「プロジェクターをメンテナンスする」をご参照ください。 標高 1,500m 以上の場所でお使いのときは、[設置]メニューの[高地モード]を[オン]にします。 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	Fan Error：ファン異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
Sensor Error：センサー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。	
Internal Error：内部異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。	

項目	説明
	<p>Airflow Error：エアフィルター風量低下異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	<p>Temp Warning：高温警告です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 高温にならない環境で使用するようになります。
	<p>Airflow Decline：エアフィルター風量低下警告です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	<p>Clean Filter：エアフィルター清掃通知です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エアフィルターを掃除または交換します。詳細については、『取扱説明書』の「プロジェクターをメンテナンスする」をご参照ください。
	<p>Lens Error：レンズ未装着異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • レンズが正しく取り付けられているか確認します。 • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
	<p>Lens Shift Error：レンズシフト異常です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • レンズが正しく取り付けられているか確認します。 • 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

項目	説明
	<p>Laser Error：レーザー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>
	<p>Laser Warning：レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>
	<p>Retard Plate Error：位相差板異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</p>
	<p>ConstBRT Expired：明るさ一定モード終了通知です。</p>
Source	<p>選択された入力ソースを表示します。 例：HDMI</p>
On-ScreenDisplay	<p>オンスクリーン表示の設定を表示します。Offのときにはメニューやメッセージは投写画面に表示されません。</p>
A/V Mute	<p>A/V ミュートの動作状態を表示します。</p>
Intake Air Temp	<p>吸気温度を表示します。</p>
Internal Temp Lv	<p>内部温度レベルを5段階で表示します。</p>
AC Voltage	<p>入力電圧の状況を監視して、瞬間的な電圧低下が発生したときに警告またはエラーを表示します。警告またはエラーが示す状態は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Warning1：電力低下 • Warning3：瞬断 • Error：遮断 <p>ダイレクトシャットダウンで本機の電源が切れるとエラーが表示されますが、異常ではありません。</p>
Laser Status	<p>光源の点灯状態を表示します。</p>
ExtCam Status	<p>オプションの外付けカメラの動作状態を表示します。</p>

ステータス表示 - Source カテゴリ

本機で選択された入力ソース信号の状態を表示します。

SDI 入力 (EB-PQ2010B のみ)

項目	説明
<2/8> 入力信号の一般情報を表示します。	
Source	選択された入力ソースを表示します。 例：SDI
Resolution	有効解像度を表示します。 表示例 : 1920x1080 横 1920 ピクセル × 縦 1080 ラインの映像信号
Color Space	カラースペースを表示します。 <ul style="list-style-type: none">• Auto(***) : [カラースペース] を [オート] に設定しているときに、入力信号から自動判別した色空間を *** に表示します。 表示例：Auto(BT.709)• BT.709 : 入力信号を BT.709 で処理しているときに表示します。• BT.2020 : 入力信号を BT.2020 で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"><p> 備考</p><ul style="list-style-type: none">• BT.709 : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。• BT.2020 : 主に HDR などの高色域の映像コンテンツなどで使われます。</div>
H-Frequency	水平周波数を表示します。
V-Frequency	垂直周波数を表示します。

項目	説明
Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート] に設定しているときに、入力信号から自動判定したビデオレンジを *** に表示します。 表示例：Auto(Limited) • Limited(16-235) : 入力信号を Limited で処理しているときに表示します。 • Full(0-255) : 入力信号を Full で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • Limited(16-235) : 主に入力信号が YCbCr 信号のときに選ばれます。 • Full(0-255) : 主に入力信号が RGB 信号のときに選ばれます。 • 映像に白とびや黒つぶれが見られるときは、プロジェクターメニューの [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ] を [フル (0-255)] に設定してください。 </div>

HDMI/DVI/HDBaseT 入力

項目	説明
<2/8>	入力信号の一般情報を表示します。
Source	選択された入力ソースを表示します。 例：HDMI
Resolution	有効解像度を表示します。 表示例 : 1920x1080 横 1920 ピクセル × 縦 1080 ラインの映像信号
Color Space	カラースペースを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [カラースペース]を[オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別した色空間を *** に表示します。 表示例：Auto(BT.709) • BT.709 : 入力信号を BT.709 で処理しているときに表示します。 • BT.2020 : 入力信号を BT.2020 で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • BT.709 : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • BT.2020 : 主に HDR などの高色域の映像コンテンツなどで使われます。 </div>
H-Frequency	水平周波数を表示します。
V-Frequency	垂直周波数を表示します。

項目	説明
Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート] に設定しているときに、入力信号から自動判定したビデオレンジを ** 表示します。 表示例：Auto(Limited) • Limited(16-235) : 入力信号を Limited で処理しているときに表示します。 • Full(0-255) : 入力信号を Full で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • Limited(16-235) : 主に入力信号が YCbCr 信号のときに選ばれます。 • Full(0-255) : 主に入力信号が RGB 信号のときに選ばれます。 • 映像に白とびや黒つぶれが見られるときは、プロジェクターメニューの [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ] を [フル (0-255)] に設定してください。 </div>
HDBaseT Level	<p>HDBaseT 端子に入力された、信号強度を表示します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考 (目安であり保証するものではありません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 信号強度の目安 <ul style="list-style-type: none"> • 最大 2K 解像度 <ul style="list-style-type: none"> 可 : 14dB(+0dB) 以上 良 : 16dB(+2dB) 以上 • 最大 4K 解像度 <ul style="list-style-type: none"> 可 : 14dB(+0dB) 以上 良 : 18dB(+4dB) 以上 • 瞬間的な信号強度の変化は検出できません。 • 下記の Cat5e STP 規格以上のケーブルをご利用ください。 [シールド有 (コネクタ含む)、単線 AWG24 以上、ストレート結線、100m 以下] </div>
Stable Time	<p>入力ソースが確定してから現在までの時間を表示します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <p>信号変化を起点に時間がリセットされ、使用時間のカウントを開始します。</p> </div>

LAN 入力

項目	説明
<2/8> 入力信号の一般情報を表示します。	
Source	選択された入力ソースを表示します。 例：LAN

USB 入力

項目	説明
<2/8> 入力信号の一般情報を表示します。	
Source	選択された入力ソースを表示します。 例：USB

ステータス表示 - Signal Information カテゴリー

本機で選択された入力ソース信号の状態を表示します。

LAN/USB 入力

項目	説明
<3/8>	入力信号の一般情報を表示します。
Stable Time	入力ソースが確定してから現在までの時間を表示します。  備考 信号変化を起点に時間がリセットされ、使用時間のカウントを開始します。

HDMI 入力

項目	説明
<3/8> 入力信号の一般情報を表示します。	
Sync Detect(5V)	<p>接続機器に対する 5V 信号の検出結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Detected : 5V 信号が検出されました。 • Not Detected : 5V 信号が検出されません。 <p> 備考 Not Detected と表示された場合は、5V 信号が検出されていません。機器やケーブルが正しく接続されているかご確認ください。</p>
Signal Status	<p>信号の判別結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Available : 表示可能な信号です。 • No Signal : 入力信号がありません。 • Not supported : 入力信号を検出しましたが、本機が対応していない信号のため表示できません。
Resolution	<p>有効解像度を表示します。</p> <p>表示例 : 1920x1080 横 1920 ピクセル × 縦 1080 ラインの映像信号</p>
Refresh Rate	<p>リフレッシュレートと走査方式を表示します。</p> <p>表示例 1 : 24p = リフレッシュレート : 24 [Hz] 走査方式 : Progressive</p> <p>表示例 2 : 60i = リフレッシュレート : 60 [Hz] 走査方式 : Interlace</p>
ColorSamp./Depth	<p>カラーサンプリングとビット深度を表示します。</p> <p>表示例 1 : YCbCr444/8bit 表示例 2 : RGB/10bit</p> <p> 備考 下記の入力端子では、YCbCr422 が入力された場合、ビット深度の解析ができないため、"- " と表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • HDBaseT

項目	説明
Color Space	<p>カラースペースを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [カラースペース]を[オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別した色空間を ** 表示します。 表示例：Auto(BT.709) • BT.709 : 入力信号を BT.709 で処理しているときに表示します。 • BT.2020 : 入力信号を BT.2020 で処理しているときに表示します。 <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • BT.709 : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • BT.2020 : 主に HDR などの高色域の映像コンテンツなどで使われます。
Dynamic Range	<p>ダイナミックレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート] に設定しているときに、入力信号から自動判別したダイナミックレンジを ** 表示します。 表示例：Auto (HDR10 M7) • SDR : 入力信号を SDR で処理しているときに表示します。 • HDR10 ### : 入力信号を HDR10 で処理しているときに表示します。HDR PQ で設定された PQ カーブを ### に表示します。 • HLG ### : 入力信号を HLG で処理しているときに表示します。HDR HLG で設定された HLG カーブを ### に表示します。 <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • SDR : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • HDR10 : HDR 規格の 1 つで、主に Ultra HD Blu-ray など使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。 • HLG : HDR 規格の 1 つで、主にテレビ放送で使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。

項目	説明
Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート] に設定しているときに、入力信号から自動判定したビデオレンジを *** に表示します。 表示例：Auto(Limited) • Limited(16-235) : 入力信号を Limited で処理しているときに表示します。 • Full(0-255) : 入力信号を Full で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • Limited(16-235) : 主に入力信号が YCbCr 信号のときに選ばれます。 • Full(0-255) : 主に入力信号が RGB 信号のときに選ばれます。 • 映像に白とびや黒つぶれが見られるときは、プロジェクターメニューの [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ] を [フル (0-255)] に設定してください。 </div>
HDCP Status/Ver	<p>HDCP の状態とバージョンを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • --/-- : HDCP 非対応信号、もしくは無信号 • Fail/-- : HDCP 認証不合格 • Pass/1.4 : HDCP 認証合格 / HDCP Ver 1.4 • Pass/2.3 : HDCP 認証合格 / HDCP Ver 2.3
Trans. Type	<p>伝送方式を表示します。</p> <p>TMDS 伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> • TMDS 10.2 G : 最大 10.2 Gbps (ハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください) • TMDS 18 G : 最大 18 Gbps (プレミアムハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください) <p>FRL 伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> • FRL-3 9G : 最大 9 Gbps • FRL-3 18G : 最大 18 Gbps • FRL-4 24G : 最大 24 Gbps • FRL-4 32G : 最大 32 Gbps • FRL-4 40G : 最大 40 Gbps <p>(FRL 伝送は、ウルトラハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください)</p>

項目	説明
Stable Time	<p>入力ソースが確定してから現在までの時間を表示します。</p> <p> 備考 信号変化を起点に時間がリセットされ、使用時間のカウントを開始します。</p>
Signal Mode	<p>信号モードを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDMI : HDMI 信号と認識された場合 • DVI : DVI 信号と認識された場合
AVI VIC/Chk.Sum	<p>AVI InfoFrame の VIC コードとチェックサムを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VIC コード : 判定結果を 3 桁の数字で表示します。 • チェックサム : 判定結果を表示します (Pass/Fail)。 • 表示例: 016/Pass
CLK-MHz/Frame-Hz	<p>ピクセルクロック周波数とリフレッシュレートの実測値を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピクセルクロック周波数 [MHz] : 整数部最大 4 桁、小数部 3 桁 • リフレッシュレート [Hz] : 整数部最大 3 桁、小数部 3 桁 • 表示例: 148.500/60.000
Total-H/V	<p>有効ピクセル数とブランキングを含めたトータルのピクセル数・ライン数を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライン当たりのトータルピクセル数 : 整数部最大 4 桁 • 1 フレーム当たりのトータルライン数 : 整数部最大 4 桁 • 表示例: 2200/1125
Sync Polarity	<p>水平・垂直同期信号の極性を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水平同期信号の極性 : Pos / Neg • 垂直同期信号の極性 : Pos / Neg • 表示例: H:Pos/V:Neg
EDID Mode	<p>EDID モードの設定を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表示例: Up to 4K60/10G
EDID Res./Rate	<p>EDID モードで設定された解像度とリフレッシュレートを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表示例: 1920x1080/60Hz
EDID Depth	<p>EDID モードで設定されたビット深度を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 表示例: 8bit

項目		説明
	GCP A/V Mute	<p>GCP パケットの A/V ミュートの状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• On：本機は映像と音声を表示・出力できません。• Off：本機は映像と音声を表示・出力できます。 <p> 備考 入力信号に設定された状態を表示します。 [On] 表示された場合は、接続機器の設定等をご確認ください。</p>
	DDC Status	接続機器との DDC 通信の状態を表示します。(メーカーエンジニア向けの項目です。)

HDBaseT 入力

項目	説明
<3/8> 入力信号の一般情報を表示します。	
Sync Detect(5V)	<p>接続機器に対する 5V 信号の検出結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Detected : 5V 信号が検出されました。 • Not Detected : 5V 信号が検出されません。 <p> 備考 Not Detected と表示された場合は、5V 信号が検出されていません。機器やケーブルが正しく接続されているかご確認ください。</p>
Signal Status	<p>信号の判別結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Available : 表示可能な信号です。 • No Signal : 入力信号がありません。 • Not supported : 入力信号を検出しましたが、本機が対応していない信号のため表示できません。
Resolution	<p>有効解像度を表示します。</p> <p>表示例 : 1920x1080 横 1920 ピクセル × 縦 1080 ラインの映像信号</p>
Refresh Rate	<p>リフレッシュレートと走査方式を表示します。</p> <p>表示例 1 : 24p = リフレッシュレート : 24 [Hz] 走査方式 : Progressive</p> <p>表示例 2 : 60i = リフレッシュレート : 60 [Hz] 走査方式 : Interlace</p>
ColorSamp./Depth	<p>カラーサンプリングとビット深度を表示します。</p> <p>表示例 1 : YCbCr444/8bit 表示例 2 : RGB/10bit</p> <p> 備考 下記の入力端子では、YCbCr422 が入力された場合、ビット深度の解析ができないため、"- "と表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • HDBaseT

項目	説明
Color Space	<p>カラースペースを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [カラースペース]を[オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別した色空間を ** 表示します。 表示例：Auto(BT.709) • BT.709 : 入力信号を BT.709 で処理しているときに表示します。 • BT.2020 : 入力信号を BT.2020 で処理しているときに表示します。 <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • BT.709 : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • BT.2020 : 主に HDR などの高色域の映像コンテンツなどで使われます。
Dynamic Range	<p>ダイナミックレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート] に設定しているときに、入力信号から自動判別したダイナミックレンジを ** 表示します。 表示例：Auto (HDR10 M7) • SDR : 入力信号を SDR で処理しているときに表示します。 • HDR10 ### : 入力信号を HDR10 で処理しているときに表示します。HDR PQ で設定された PQ カーブを ### に表示します。 • HLG ### : 入力信号を HLG で処理しているときに表示します。HDR HLG で設定された HLG カーブを ### に表示します。 <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • SDR : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • HDR10 : HDR 規格の 1 つで、主に Ultra HD Blu-ray など使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。 • HLG : HDR 規格の 1 つで、主にテレビ放送で使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。

項目	説明
Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判定したビデオレンジを ** 表示します。 表示例：Auto(Limited) • Limited(16-235) : 入力信号を Limited で処理しているときに表示します。 • Full(0-255) : 入力信号を Full で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • Limited(16-235) : 主に入力信号が YCbCr 信号のときに選ばれます。 • Full(0-255) : 主に入力信号が RGB 信号のときに選ばれます。 • 映像に白とびや黒つぶれが見られるときは、プロジェクターメニューの [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ] を [フル (0-255)] に設定してください。 </div>
HDCP Status/Ver	<p>HDCP の状態とバージョンを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • --/-- : HDCP 非対応信号、もしくは無信号 • Fail/-- : HDCP 認証不合格 • Pass/1.4 : HDCP 認証合格 / HDCP Ver 1.4 • Pass/2.3 : HDCP 認証合格 / HDCP Ver 2.3
Trans. Type	<p>伝送方式を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • TMDS 伝送方式 <ul style="list-style-type: none"> • TMDS 10.2 G : 最大 10.2 Gbps <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <p>下記の Cat5e STP 規格以上のケーブルをご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [シールド有 (コネクタ含む)、単線 AWG24 以上、ストレート結線、100m 以下] </div>
Stable Time	<p>入力ソースが確定してから現在までの時間を表示します。</p> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <p>信号変化を起点に時間がリセットされ、使用時間のカウントを開始します。</p> </div>

項目	説明
Signal Mode	信号モードを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • HDMI : HDMI 信号と認識された場合 • DVI : DVI 信号と認識された場合
AVI VIC/Chk.Sum	AVI InfoFrame の VIC コードとチェックサムを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • VIC コード : 判定結果を 3 桁の数字で表示します。 • チェックサム : 判定結果を表示します (Pass/Fail)。 • 表示例: 016/Pass
CLK-MHz/Frame-Hz	ピクセルクロック周波数とリフレッシュレートの実測値を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ピクセルクロック周波数 [MHz] : 整数部最大 4 桁、小数部 3 桁 • リフレッシュレート [Hz] : 整数部最大 3 桁、小数部 3 桁 • 表示例: 148.500/60.000
Total-H/V	有効ピクセル数とブランキングを含めたトータルのピクセル数・ライン数を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • ライン当たりのトータルピクセル数 : 整数部最大 4 桁 • 1 フレーム当たりのトータルライン数 : 整数部最大 4 桁 • 表示例: 2200/1125
Sync Polarity	水平・垂直同期信号の極性を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 水平同期信号の極性 : Pos / Neg • 垂直同期信号の極性 : Pos / Neg • 表示例: H:Pos/V:Neg
EDID Mode	EDID モードの設定を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 表示例: Up to 2K60/10G
EDID Res./Rate	EDID モードで設定された解像度とリフレッシュレートを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 表示例: 1920x1080/60Hz
EDID Depth	EDID モードで設定されたビット深度を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 表示例: 8bit

項目	説明
HDBaseT Level	<p>HDBaseT 端子に入力された、信号強度を表示します。</p> <p> 備考（目安であり保証するものではありません。）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 信号強度の目安 <ul style="list-style-type: none"> • 最大 2K 解像度 <ul style="list-style-type: none"> 可 : 14dB(+0dB) 以上 良 : 16dB(+2dB) 以上 • 最大 4K 解像度 <ul style="list-style-type: none"> 可 : 14dB(+0dB) 以上 良 : 18dB(+4dB) 以上 • 瞬間的な信号強度の変化は検出できません。 • 下記の Cat5e STP 規格以上のケーブルをご利用ください。 [シールド有(コネクタ含む)、単線 AWG24 以上、ストレート結線、100m 以下]
GCP A/V Mute	<p>GCP パケットの A/V ミュートの状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • On : 本機は映像と音声を表示・出力できません。 • Off : 本機は映像と音声を表示・出力できます。 <p> 備考</p> <p>入力信号に設定された状態を表示します。</p> <p>[On] 表示された場合は、接続機器の設定等をご確認ください。</p>
HDBaseT Tx Firm	HDBaseT の送信機側のファームウェアバージョンを表示します。

SDI入力 (EB-PQ2010Bのみ)

項目	説明
<3/8>	入力信号の一般情報を表示します。
Sync Detect(PLL)	<p>接続機器に対する SDI 信号の検出結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Detected : SDI 信号が検出されました。 • Not Detected : SDI 信号が検出されません。 <p> 備考 Not Detected と表示された場合は、SDI 信号が検出されていません。機器やケーブルが正しく接続されているかご確認ください。</p>
Signal Status	<p>信号の判別結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Available : 表示可能な信号です。 • No Signal : 入力信号がありません。 • Not supported : 入力信号を検出しましたが、本機が対応していない信号のため表示できません。
Resolution	<p>有効解像度を表示します。</p> <p>表示例 : 1920x1080 横 1920 ピクセル × 縦 1080 ラインの映像信号</p>
Refresh Rate	<p>リフレッシュレートと走査方式を表示します。</p> <p>表示例 1 : 24p = リフレッシュレート : 24 [Hz] 走査方式 : Progressive</p> <p>表示例 2 : 60i = リフレッシュレート : 60 [Hz] 走査方式 : Interlace</p>
ColorSamp./Depth	<p>カラーサンプリングとビット深度を表示します。</p> <p>表示例 1 : YCbCr422/10bit 表示例 2 : RGB/12bit</p>

項目	説明
Color Space	<p>カラースペースを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [カラースペース]を[オート]に設定しているときに、入力信号から自動判別した色空間を***に表示します。 表示例：Auto(BT.709) • BT.709 : 入力信号を BT.709 で処理しているときに表示します。 • BT.2020 : 入力信号を BT.2020 で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • BT.709 : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • BT.2020 : 主に HDR などの高色域の映像コンテンツなどで使われます。 </div>
Dynamic Range	<p>ダイナミックレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート] に設定しているときに、入力信号から自動判別したダイナミックレンジを***に表示します。 表示例：Auto (HDR10 M7) • SDR : 入力信号を SDR で処理しているときに表示します。 • HDR10 ### : 入力信号を HDR10 で処理しているときに表示します。HDR PQ で設定された PQ カーブを ### に表示します。 • HLG ### : 入力信号を HLG で処理しているときに表示します。HDR HLG で設定された HLG カーブを ### に表示します。 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • SDR : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • HDR10 : HDR 規格の 1 つで、主に Ultra HD Blu-ray など使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。 • HLG : HDR 規格の 1 つで、主にテレビ放送で使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。 </div>

項目	説明
Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Auto(***) : [オート]に設定しているときに、入力信号から自動判定したビデオレンジを ** 表示します。 表示例：Auto(Limited) • Limited(16-235) : 入力信号を Limited で処理しているときに表示します。 • Full(0-255) : 入力信号を Full で処理しているときに表示します。 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • Limited(16-235) : 主に入力信号が YCbCr 信号のときに選ばれます。 • Full(0-255) : 主に入力信号が RGB 信号のときに選ばれます。 • 映像に白とびや黒つぶれが見られるときは、プロジェクターメニューの [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ] を [フル (0-255)] に設定してください。 </div>
Trans. Type	<p>伝送方式を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HD : HD-SDI • 3G(Lv-A) : 3G-SDI Level-A • 12G(T-1 M1) : 12G-SDI Type-1 Mode1 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • PayloadID が検出されない時は、3G(-), 12G(-) 表示となります。 • 伝送方式に対応したケーブルをご使用ください。 </div>
Stable Time	<p>入力ソースが確定してから現在までの時間を表示します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p> 備考</p> <p>信号変化を起点に時間がリセットされ、使用時間のカウントを開始します。</p> </div>

項目	説明
PayloadID Detect	<p>Payload ID の状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Detected : Payload ID が検出されました。 • Not Detected : Payload ID が検出されません。 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • Not Detected と表示された場合は、Payload ID が検出されていません。接続機器をご確認ください。 • Payload ID が必要な伝送方式 <ul style="list-style-type: none"> • HD-SDI : 任意 • 3G-SDI : 必要 • 12G-SDI : 必要 • Payload ID が無い場合や、異常がある場合は、正常に表示ができない場合があります。下記項目をプロジェクトメニューから手動設定することで、表示が改善される場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Color Space • Dynamic Range • Video Range </div>
Payload Byte1-4	<p>Payload ID を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力信号から Payload ID の Byte1 から Byte4 を 16 進数で表示します。 • 表示例 : 89.CB.00.01 h
CLK-MHz/Frame-Hz	<p>ピクセルクロック周波数とリフレッシュレートの実測値を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ピクセルクロック周波数 [MHz] : 整数部最大 4 桁、小数部 3 桁 • リフレッシュレート [Hz] : 整数部最大 3 桁、小数部 3 桁 • 表示例 : 148.500/60.000
Total-H/V	<p>有効ピクセル数とブランキングを含めたトータルのピクセル数・ライン数を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライン当たりのトータルピクセル数 : 整数部最大 4 桁 • 1 フレーム当たりのトータルライン数 : 整数部最大 4 桁 • 表示例 : 2200/1125

ステータス表示 - Output Signal カテゴリ

HDMI 出力

項目	説明
<4/8>	出力信号の一般情報を表示します。
Hot Plug(5V)	<p>ホットプラグ 5V 信号の検出結果を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Detected : 5V 信号が検出されました。 • Not Detected : 5V 信号が検出されません。 <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 備考 Not Detected と表示された場合は、5V 信号が検出されていません。機器やケーブルが正しく接続されているかご確認ください。</p> </div>
Output Source	出力する信号ソースを表示します。
Resolution	<p>有効解像度を表示します。</p> <p>表示例 : 1920x1080 横 1920 ピクセル × 縦 1080 ラインの映像信号</p>
Refresh Rate	<p>リフレッシュレートと走査方式を表示します。</p> <p>表示例 1 : 24p = リフレッシュレート : 24 [Hz] 走査方式 : Progressive</p> <p>表示例 2 : 60i = リフレッシュレート : 60 [Hz] 走査方式 : Interlace</p>
ColorSamp./Depth	<p>カラーサンプリングとビット深度を表示します。</p> <p>表示例 1 : YCbCr444/8bit 表示例 2 : RGB/10bit</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 備考 下記の出力端子では、YCbCr422 が出力された場合、ビット深度の解析ができないため、"- "と表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDMI </div>

項目	説明
Color Space	<p>カラースペースを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • BT.709 : 出力信号が BT.709 のときに表示します。 • BT.2020 : 出力信号が BT.2020 のときに表示します。 <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • BT.709 : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • BT.2020 : 主に HDR などの高色域の映像コンテンツなどで使われます。
Dynamic Range	<p>ダイナミックレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SDR : 出力信号が SDR のときに表示します。 • HDR10 : 出力信号が HDR10 のときに表示します。 • HLG : 出力信号が HLG のときに表示します。 <p> 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> • SDR : 主に DVD や従来のテレビ放送などで使われます。 • HDR10 : HDR 規格の 1 つで、主に Ultra HD Blu-ray など使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。 • HLG : HDR 規格の 1 つで、主にテレビ放送で使われます。SDR より約 10 倍の明るさの階調があり、リアルな映像表示が可能です。
Video Range	<p>ビデオレンジを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Limited(16-235) : 出力信号が Limited のときに表示します。 • Full(0-255) : 出力信号が Full のときに表示します。
HDCP Status/Ver	<p>HDCP の状態とバージョンを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • --/-- : HDCP 非対応信号、もしくは無信号 • Fail/-- : HDCP 認証不合格 • Pass/1.4 : HDCP 認証合格 / HDCP Ver 1.4 • Pass/2.3 : HDCP 認証合格 / HDCP Ver 2.3
Trans. Type	<p>伝送方式を表示します。</p> <p>TMDS 伝送方式</p> <ul style="list-style-type: none"> • TMDS 10.2 G : 最大 10.2 Gbps (ハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください) • TMDS 18 G : 最大 18 Gbps (プレミアムハイスピード HDMI ケーブルをご利用ください)

ステータス表示 - Network Wired カテゴリ

本機の有線 LAN の状態を表示します。

項目	説明
<5/8> 有線 LAN の状態を表示します。	
Product Name	ネットワーク上で本機を識別するための固有の名前を表示します。
Connection Mode	有線 LAN の接続経路の設定を表示します。
DHCP	DHCP の設定を表示します。
IP Display	IP アドレス表示の設定を表示します。
IP Address	IP アドレスを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。

ステータス表示 - Network Wireless カテゴリー

本機の無線 LAN の状態を表示します。

項目	説明
<6/8>	無線 LAN の状態を表示します。(かんたんモード設定情報) (マニュアル設定情報)
Projector Name	ネットワーク上で本機を識別するための固有の名前を表示します。
Connection Mode	無線 LAN の接続経路の設定を表示します。
SSID Display	SSID の設定を表示します。
SSID	SSID を表示します。
DHCP	DHCP の設定を表示します。
IP Display	IP アドレス表示の設定を表示します。
IP Address	IP アドレスを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
Security	セキュリティーの設定を表示します。
Antenna Level	Wi-Fi の受信状態を表示します。(Level 0-5)

ステータス表示 - Maintenance カテゴリ

使用時間および光源情報を表示します。

項目	説明
<7/8> 使用時間および光源情報を表示します。	
Operation Time	累積使用時間を表示します。
Laser Op. Time	レーザー光源の累積使用時間を表示します。 表示例 : 00H/00H : Normal モード / Quiet モードのレーザー点灯時間を表示します。 00H/00H : Extended モード / Custom モードのレーザー点灯時間を表示します。 00H : 低電圧モードのレーザー点灯時間を表示します。

ステータス表示 - Version カテゴリ

本機の本機の製造番号とファームウェアのバージョンを表示します。

項目	説明
<8/8> 本機の本機の製造番号とファームウェアのバージョンを表示します。	
SerialNo.	製造番号を表示します。
Main	ファームウェアのメインバージョンを表示します。
Video2	ファームウェアのバージョンを表示します。
Sub	ファームウェアのバージョンを表示します。
Sub2	ファームウェアのバージョンを表示します。
HDMI	ファームウェアのバージョンを表示します。
HDMI2	ファームウェアのバージョンを表示します。
HDBaseT	ファームウェアのバージョンを表示します。
Pixel Shift	ファームウェアのバージョンを表示します。

「ステータス表示ガイド」ご利用について

「ステータス表示ガイド」ご利用条件

2024年8月

セイコーエプソン株式会社

1. 「ステータス表示ガイド」（以下「本書」といいます）の著作権は、セイコーエプソン株式会社（以下「当社」といいます）に帰属いたします。お客様は当社のプロジェクター製品をご利用いただく目的のためにのみ、本書を1部印刷し、ご利用いただくことができます。お客様は当社に無断で本書の全部または一部を複製、転載、改変、送信したりすることはできません。
2. 本書の内容は将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
3. お客様は、本書をお客様ご自身の責任においてご利用いただくものとします。お客様が本書をご利用いただいたこと、またはご利用いただけなかったことにより、お客様に直接的、間接的、特別、偶発、結果的、その他いかなる損害が生じた場合でも、当社は一切責任を負いません。

商標について

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface、ハイスピード HDMI、およびウルトラ ハイスピード HDMI は、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標、または登録商標です。 

HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の登録商標です。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

2024.8 Rev.01